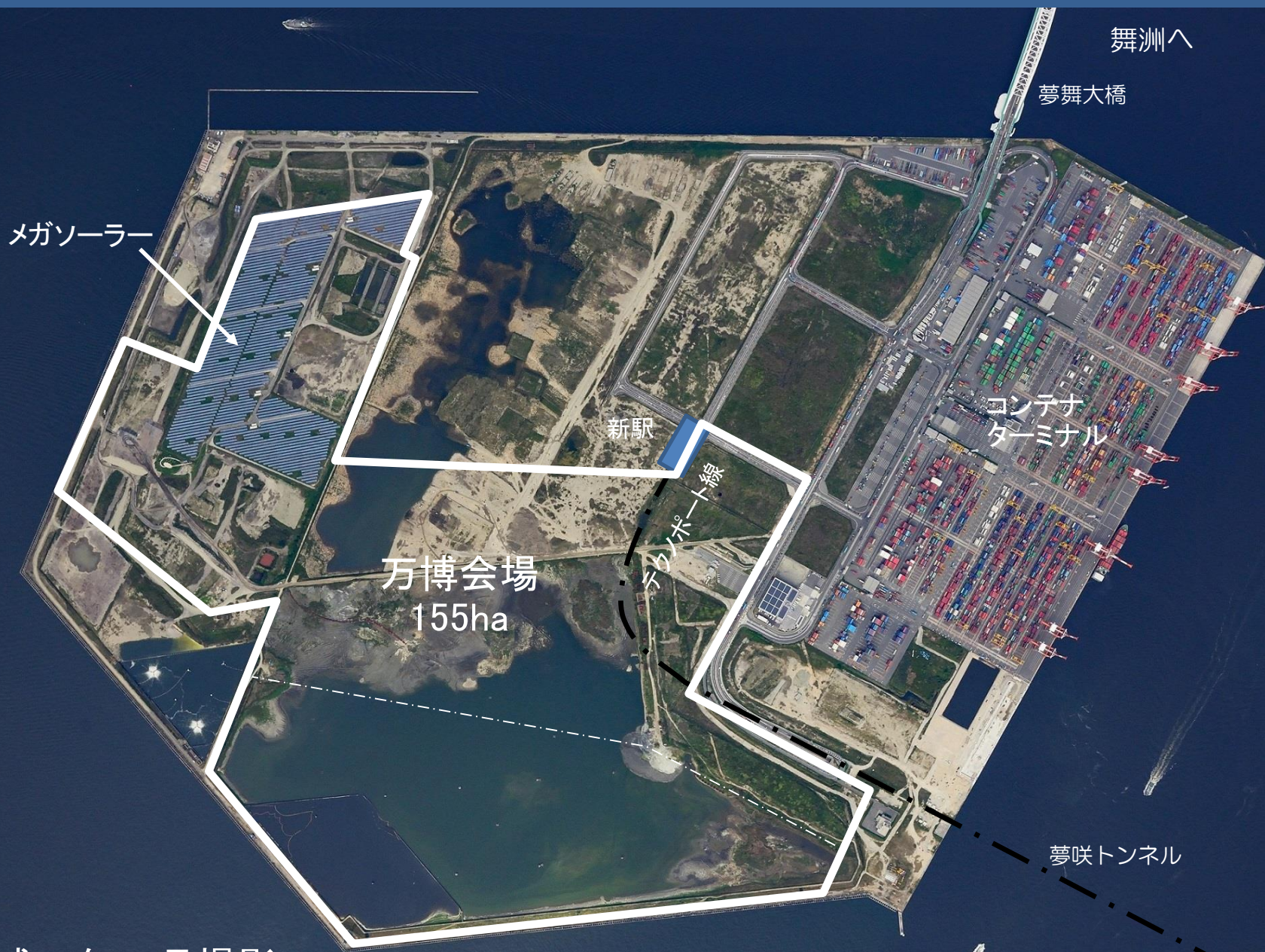


国際博覧会会場候補地についての参考資料

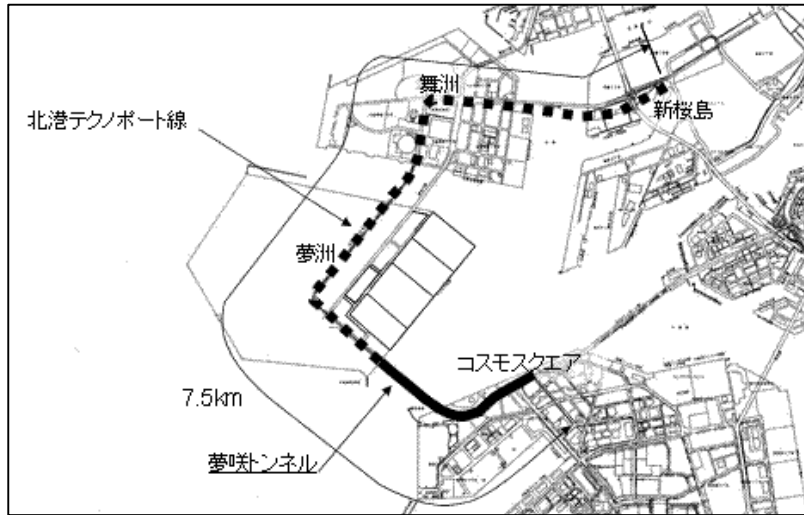
夢洲地区



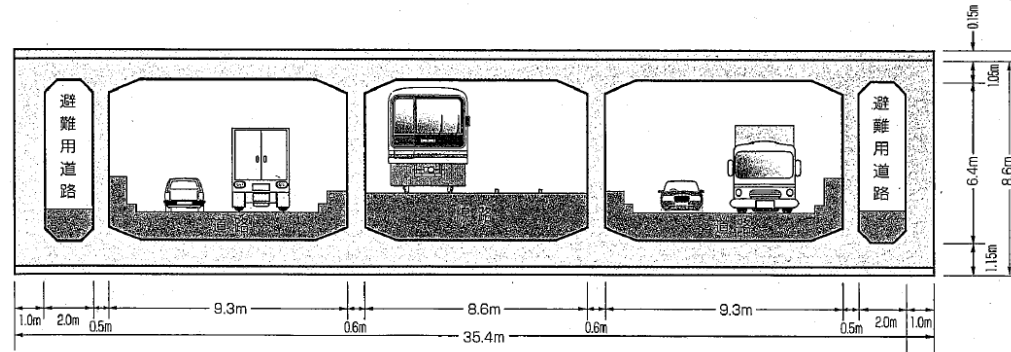
平成28年10月撮影

北港テクノポート線

■ 平面図

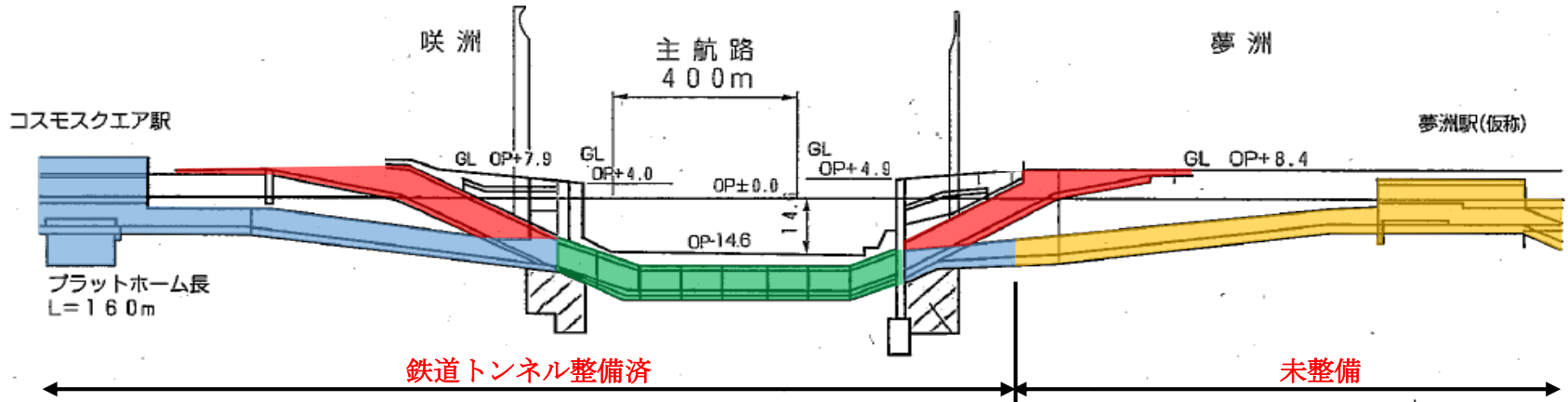


■ 沈埋函(夢咲トンネル)の基本断面図



■ 縦断面図

- 鉄道トンネル整備済 (未供用区間 約1.8km)
- 道路トンネル供用済
- 道路トンネル供用済かつ鉄道トンネル整備済区間 (下図参照)
- 鉄道トンネル未整備 (夢洲駅まで約1.2km)



2025年 国際博覧会を大阪・関西へ



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO 2025



World Expo 2025
Candidate

いのち輝く未来社会のデザイン

開催期間：2025年5月3日・11月3日(185日間) | 開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)

www.expo2025-osaka-japan.jp EXPO 2025

2025年国際博覧会(万博)を大阪・関西へ!

大阪・関西では、2025年に開催される国際博覧会(万博)開催地として立候補し、様々な誘致活動を行っています。

万博とは?

「万博」は世界中からたくさんの人が集まるイベントで、1970年に日本で最初に開催された大阪万博(EXPO'70)は日本の高度経済成長をシンボライズする一大イベントとなりました。

「万博」では新しい技術や商品が生まれ生活が便利になる「きっかけ」となります。

エレベーター(1853年、ニューヨーク万博)/電話(1876年、フィラデルフィア万博)
ファミリーレストラン、ワイヤレステレホン、電気自動車、動く歩道(1970年大阪万博)
ICチップ入り入場券、AED、ドライミスト(2005年愛知万博)

2025年大阪・関西万博が実現したら…

- ①最先端技術など世界の英知が結集し
新たなアイデアを創造発信
- ②国内外からの投資拡大
- ③交流活性化によるイノベーション創出
- ④地域経済の活性化や中小企業の活性化
- ⑤豊かな日本文化の発信のチャンス

テーマ・サブテーマ・基本理念

テーマ

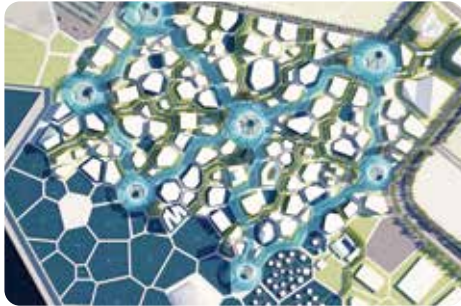
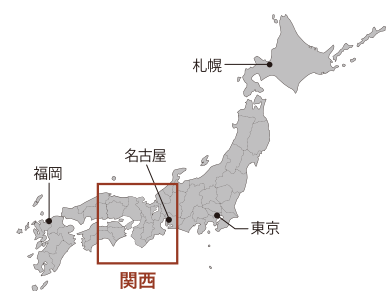
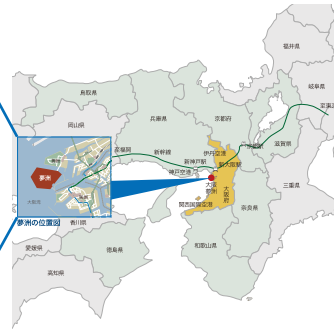
いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”

サブテーマ

多様で心身ともに健康な生き方
持続可能な社会・経済システム

基本理念

真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする
経済・社会の未来像を参加者で共創。



あえて中心をつくらない分散型の会場デザイン。個と個の関係、多様性の中から生まれる調和と共創によって形成される未来社会を表現。



会場内の5カ所に「空」(くう)と呼ばれる大広場を設置。AR(拡張現実)・MR(複合現実)技術を活用した展示やイベントなどを行い、来場者の交流の場とする。



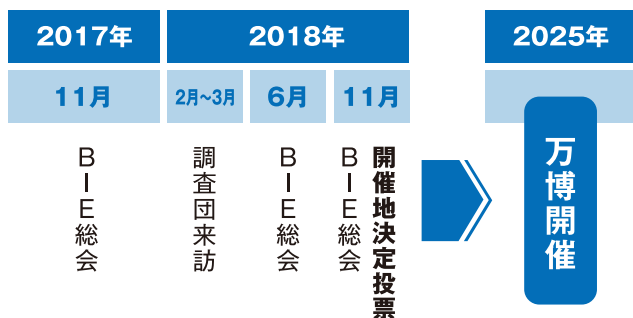
南西側を望む夕景の会場鳥瞰図。淡路島、明石海峡大橋を背景に美しい景観が広がる。

出典:ビッド・ドシエ(立候補申請文書)(経済産業省作成)

開催概要

開催場所: ^{ゆめしま}夢洲(大阪市)
開催期間: 5/3~11/3(185日間)
入場者(想定): 約2,800万人
経済波及効果(試算値): 約2兆円

〈スケジュール〉



※BIE総会
2025年国際博覧会は、国際博覧会条約(BIE条約)に基づき、加盟国政府もしくは加盟国が認めた法人が主催する国際的な博覧会であり、開催地は、博覧会国際事務局(BIE)において立候補国の中から、選挙(1国1票)で決定されます。

〈他の立候補国について〉

フランス	開催都市	パリ郊外サクレ
	開催期間	5月1日~10月31日
ロシア	開催都市	エカテリンブルク
	開催期間	5月2日~11月2日
アゼルバイジャン	開催都市	バクー
	開催期間	5月10日~11月10日